

熊野皇大神社 追分節と太々神楽



碓氷峠「熊野神安見絵図」(1756・宝暦6年)

軽井沢に伝わる2つの無形民俗文化財「追分節(追分馬子唄・信濃追分)」と「熊野皇大神社太々神楽(散米の舞・千箭の舞・鳥の舞)」が、令和5年6月27日に軽井沢町無形民俗文化財に指定されました。

軽井沢は、古くから交通の要所として、多くの旅人が往来しました。江戸期になり、中山道が整備されると、険しい峠道や浅間根腰の三宿といわれた軽井沢宿・香掛宿・追分宿の宿場間の運送を担った馬子たちの間から仕事唄「追分節」が生まれました。仕事唄は、三宿の旅籠で働く飯盛女たちにより三味線、太鼓、踊りがついてにぎやかな座敷唄となり、宴席やハレの日に唄われるようになりました。仕事唄調(追分馬子唄)・座敷唄調(信濃追分)の2つの「追分節」は街道を伝わり全国に広がっていき、軽井沢は追分節の発祥地となりました。

碓氷峠の頂上に、信濃国(長野県)と上野国(群馬県)の国堺をまたがる神社 熊野権現(碓氷権現)は、江戸期多くの旅人で賑わい、神社を中心に峠町ができ、繁栄しました。この神社には、峠の社家や講の人たちにより古くから太々神楽が継承されてきました。明治期以降、長野県側を熊野皇大神社、群馬県側を熊野神社と称するようになりましたが、現在も継承され、年に2回の例大祭で、見ることができます。

本企画展では、町無形民俗文化財指定を記念して、2つの無形民俗文化財を関係資料等により紹介します。



追分

香掛

軽井沢

「熊野神安見絵図」(1756・宝暦6年)

町無形民俗文化財 披露・講演会

10月21日(土)

◆無形民俗文化財披露

時間 13時00分～13時40分
追分節保存会

追分節

(追分馬子唄・信濃追分)

軽井沢御神楽保存会

熊野皇大神社 太々神楽

(散米の舞・千箭の舞・鳥の舞)

◆講演会①

時間 13時50分～14時50分
講師 深谷 大氏

早稲田大学演劇博物館研究員

追分節の魅力と意義

— 今に続く街道の歌声をめぐって —

◆講演会②

時間 15時00分～16時00分
講師 久保田 裕道氏

熊野皇大神社・熊野皇大神社御神楽保存会
無形民俗文化財調査員

無形文化遺産としての神楽

「熊野皇大神社の御神楽からみる」

定員 50名

申込方法 電話で申し込んでください。

時間 9時～17時

定員になり次第締切ります(先着順)。
入館料が必要です。

軽井沢町追分宿郷土館

Karuzawa Owakajuku Museum of Local History

【開館時間】 9時～17時(最終入館16時30分)

【入館料】 一般400円(300円)

小中高生 200円(150円)

※()は20人以上の団体

※福辰雄文学記念館と共通

【休館日】 企画展期間中は11月1日(水)

※最新の情報はHPをご確認ください。

Access Map



【交通案内】

○北陸新幹線軽井沢駅から車で約30分

○しなの鉄道信濃追分駅から徒歩30分、

タクシーで5分

○碓氷軽井沢ICから車で約30分

○佐久IC、小諸ICから車で約20分

駐車場:50台分

〒389-0115

長野県北佐久郡軽井沢町追分1155-8

TEL・FAX 0267-45-1466

<https://www.town.karuzawa.lg.jp/>